

事務事業評価調書

施策体系	施策横断				所管課班	ビジョン課ビジョン班			
事業名	新ビジョンの策定検討（令和元年度～）				連絡先	078-362-3072			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	—	—	—	31,931 千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	—	0 千円			
		委託料	—	—	—	700 千円			
		補助金・交付金	—	—	—	0 千円			
		貸付金	—	—	—	0 千円			
		その他需用費等	—	—	—	31,231 千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	—	—	（0千円）			
		（県債）	—	—	—	（0千円）			
		（その他[ ]）	—	—	—	（0千円）			
		（一般財源）	—	—	—	（31,931千円）			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	16.0人
		—		—		—		143,728 千円	
		職員給与費 a	—	—	—	123,120 千円			
賞与引当金繰入額 b		—	—	—	8,768 千円				
退職手当引当金繰入額 c		—	—	—	11,840 千円				
総コスト（①+②）	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	16.0人	
	—		—		—		175,659 千円		
	[うち事業拡大分]		—		—		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	新ビジョンの策定検討	目標	—	—	—	新ビジョン案作成	新ビジョン策定【R3年度】		
		実績（見込）	—	—	—	新ビジョン案作成			
		（単位当たりコスト）	—	—	—				
		[うち事業拡大分]	—	—	—				
達成率（見込）	—	—	—						
評価	<p>・中長期の県政の指針である「21世紀兵庫長期ビジョン」の策定から20年、改訂から10年近い時が経つ。社会が大きく変化する中、今後の兵庫づくりの方向性を県民とともに考え直す時期に来ている。現行ビジョンに代わる新ビジョンを2021年度末に策定することを目指し、社会潮流の調査研究と、それを踏まえた本県の新たな将来構想の検討を進める。</p> <p>・全県ビジョンの策定検討として、将来構想研究会を運営し、2050年までの社会潮流を調査研究し、兵庫に起こりうる変化のイメージを明確化・新ビジョンの元となる将来構想試案を作成する。</p> <p>・地域ビジョンの策定検討として、新地域ビジョン検討委員会（仮称）を設置・運営し、地域資源や課題の掘り起こし、県民ヒアリング等を行い、新たな地域像についての検討を実施する。</p> <p>・また、次代を担う若者を対象に、2050年の兵庫のあり方について検討し政策提言を行うフォーラムを実施し、新ビジョン策定に活用する</p>								
3年目の見直し	—								